## 温室効果ガス排出削減計画

氏 (法人にあっては名称) 住										
名ヤマト運輸株式会社					〒 104-8125 〒東京都中央区銀座2-16-10					
	部署	署名:	岡山主管支店	安全推進課		<u>'  </u>				
主たる業	<b>種</b>	分類 コート	44 業種名:	道路貨物運送	送業					
事業の 概 要	貨物	加自重	加車運送業 社員	数 : 158,2	00人					
	番-	号	工場	工場等の名称			所 在 地			
	1	) 岡山主管支店(県南部 62事業所の合計)				岡山市中区倉益253-11、他				
県内の 主 な 工場等	2	)津	山主管支店(県	比部 33事業)	所の合計)	苫田和	郡鏡野町古川107	2-5、他		
特定事業 の該当要			燃料等原油換算1,5 工場等の数				、タクシー250台以上 ì数(②該当の場			
計画期	間		平成 28	年度	~	平成	28 年度	( 1	箇年度)	
削減目	西	いずれ を選打	ιか □ 総排出量		目標削減			~15% 15~10% 10		
温室効果な	ヺス		基準年度(平成	27 年度)		·	目標年度(平成	28 年度	)	
排出量				11, 516	6 t CO <sub>2</sub>					
		番号 工場等の名称				基準年度(平成 27 年度)の排出量				
		① 岡山主管支店(県南部 62事業所の合語			「の合計)	6,733 t CO <sub>2</sub>				
基準年度		② 津山主管支店(県北部 33事業所の合計)			「の合計)	4,899 t CO <sub>2</sub>				
主な工場 の排出量									t CO <sub>2</sub>	
	`								t CO <sub>2</sub>	
	-								t CO <sub>2</sub>	
\•/ [⊐I		188 .		#: D1 #- ~-: #+ #	→ <del></del>	→ \1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	미미나 크기키 . 노 것		t CO <sub>2</sub>	
※ 「計			欄には、5箇年原			E め る 男 T	.,	とり排出量		
(原単位基 の削減目標	[準	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容				基準年度	目標2	年度		
選択した場						334. 376 317. 657				
に記入)		アーベハ癿圧回数・ ーンハン 下癿圧回数/					02/ ( 個 )	t CO <sub>2</sub> /	(個)	
(該当事業		み記え	()							
ベンチマー	ーク	対	象事業の名称	ベンチ	テマーク指標	Ę	関連数値(平成	27 年度)	達成率(%)	
指標の状	況									
			の基本的な考え							
温室効果	:ガフ	の削	減目標を1%とし	· 、原単位当	り排出量を	基準年	度の95%に設定	する。		

## 【目標削減率達成のための推進体制】

企業の社会的責任である環境保護活動を「ネコロジー」と称し、環境を意識した 事業活動とともに、社員一人ひとりが常に環境保護の意識をもって日々の業務を行っている。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山主管支店	<ol> <li>発進時の動作として、アクセルを踏まないロー発進を徹底</li> <li>モーダルシフト(車から鉄道利用)</li> <li>電気自動車の導入(3台)</li> </ol>

【計画期間中に目標削減率を達成するために宝施する措置】

【計画期間甲に目標削减率を調	<b>氃成するために実施する措直】</b>
工場等の名称	措置内容
岡山主管支店	1.集配における駐車場所を設定し、走行距離を削減する (弊社では、安全ルートマップ・バス停集配という) 2.集配車両に自転車や台車を搭載し、走行距離を抑制する (弊社では、2マン集配・チーム集配という) 3.運行ルートを見直し、高効率な積み合わせを行い、 運行車両台数を削減する

県内で の取組	無	
その他	無	

## 【再生可能エネルギーの導入計画】

県内で の取組	無	
その他	無	

## 【その他特記事項】

「省エネ推進委員会」を設置し、年2回会議を開催して各責任部門の点検・清掃実施と 省エネ推進状況の確認を行う。

主な工場等の排出量は岡山県南部、北部でそれぞれ下記のように代表主管支店にて合計値を報告する

- ※岡山主管支店・・・岡山県南部の合計 62事業所の排出量の合計値
- ※津山主管支店・・・岡山県北部の合計 33事業所の排出量の合計値